



アンタリスソーラーのモジュール、塩スプレーを用いた腐食テストで、塩害の厳しい条件下での耐久性を実証

ドイツ、ヴァルダシャフ - 2013年5月8日 - ドイツの太陽電池メーカーであるアンタリスソーラーは、ベルリンの太陽電池研究所(PI)に委託し、アンタリスソーラーのAS M単結晶モジュールの塩スプレーを用いた腐食テストを実施しました。これは、アンタリスソーラーのモジュールが大気に塩分が多く、雨も強い海岸地区での設置に適しているかを実証するために実施されたものです。テスト後、アンタリスソーラーのモジュールには目に見える損傷や、発電能力への影響は見られませんでした。

太陽電池システムは常に腐食の危機にさらされており、これが性能に悪影響を及ぼしかねません。海岸地区では降雨量、塩分が平均を上回ることが多く、腐食への危機がとりわけ大きくなります。そこでアンタリスソーラーではベルリンの太陽電池研究所(PI)に委託し、アンタリスソーラーのAS Mシリーズ単結晶モジュールをDIN EN 60068-2-52に準拠した塩スプレー腐食テストに供しました。

テストは7日間かけて行われ、この間、モジュールには塩分濃度が5.0g/lのスプレーが4回、1回当たり2時間ずつ噴霧されました。その後モジュールは湿度93パーセント、温度40°Cの湿った部屋に収納され、最後に23°Cの部屋で3日間の乾燥処理を経ました。これは、数年間にわたる通常の屋根上設置運転を実験室で模倣したものです。

このテストサイクル完了後、アンタリスソーラーのモジュールは材質への損傷と発電性能に関して検査されました。検査の結果、モジュール構造には何ら損傷はなく、性能にも悪影響は出ていないことが確認されました。テストに供したアンタリスソーラーのAS Mモジュールは極度の塩水と湿度にさらされた後でも、目に見える損傷や、発電能力への影響はありませんでした。

アンタリスソーラーのCEO、ミヒャエル・ゲーデ博士は以下のようにコメントしています。「弊社のモジュールが多様で厳しい野外条件下でも長寿命を保証できるよう、弊社では極端な環境を模倣した条件下でのテストを繰り返し行っています。最近ではモジュールのアンモニア耐性をテストし、これに合格しました。今回塩スプレー腐食テストにも合格したことで、海岸地区など特に塩害の厳しい野外条件下でも弊社モジュールの設置をお勧めできます」



アンタリスソーラーのAS Mモジュールは塩害の厳しい野外条件下でもきわめて耐久性が高く、海岸地区での設置にも最適です。

アンタリスソーラーについて

アンタリスソーラー (www.antaris-solar.jp) は、最先端の太陽光技術を施工業者や電力供給の代理店に提供する、ドイツの主要なプロバイダーです。自社ブランドの太陽電池パネルシリーズ、インバータ、架台といった一連の太陽電池製品を提供しています。

本社をドイツに置き、イギリス、米国、および日本に支店があります。アンタリスソーラーは、ドイツのゴージェグループ (GOEDE Group) (www.goede.com) の一員です。

<本リリースに関する報道関係からのお問い合わせは下記にお願いいたします>

アンタリスソーラー日本支店(アンタリスソーラー Japan)

(日本リニューアブルエナジー株式会社内)

TEL: 03-5255-3340 Fax: 03-3231-4900

Email: info@antaris.jp

プレスお問い合わせ窓口(アンタリスソーラー・ジャパンPRエージェンシー)

株式会社ブラッド・スウェットアンドビヤーズ

早田 真由美

TEL: 03-6809-2301 FAX: 03-6809-2302

Email: hayata@bsbeers.com